

学校生活の改善に向けて  
中学校生徒会サミットで討論

7月31日、鳴子中学校で、市内の中学校11校による第20回のおおさき中学校生徒会サミットが開催されました。今回のサミットは「学校生活の改善に向けて」一人一人ができることをテーマに、参加した39人の生徒が8つのグループに分かれて意見を出し合いました。



▲身振り手振りを交え、自分の意見を伝えていました

各グループでは、「大崎市の中学生として目指す理想の姿」や、「校歌を大きな声で歌うにはどうするか」などを話し合いました。生徒たちは

改善につながるキーワードなど、自分の考えを付箋に書き込んで発表し、同じような意見をグループ分けしてまとめていました。

サミット終盤では、それぞれのグループで話し合った意見を発表しました。「大崎市の中学生として目指す理想の姿について話し合ったグループからは「相手の立場に立ち、思いやりの心を持つ」、「常に周りに気を配り、困っている人がいたら見て見ぬふりをしない」などの意見が出されました。

閉会行事では、参加した生徒から「今回この中学生サミットに参加し、いろいろな意見を聞くことができた。一人では思いつかない意見もたくさんあり、非常に参考になった」と感想が述べられました。参加校は話し合いで出た意見を持ち帰り、学校生活の改善に向け、生徒会活動の取り組みなどに生かしていきます。

姉妹都市台東区と友好都市港南区、  
市内の小・中学生が交流しました

東京都台東区と本市は、旧古川市に東北新幹線が開通したことをきっかけに、昭和59年から姉妹都市提携を結んでいます。

8月4日、市内の小・中学生が台東区を訪問し、スポーツ交流少年団大会が行われました。この交流は、さまざまなスポーツを通して互いの町を知り、友情を築いてもらおうと、昭和59年から行っています。今年は、空手道に励む小学生16人が参加しました。また、友好都市の横浜市港南区と旧三本木町は、それぞれの町(区・市)の花がひまわり



▲空手好き同士、話が弾み交流も深まります



▲ひまわりアイスを食べ、満開のひまわりを見学しました

りであることから、昭和63年以来、交流が続いています。毎年8月は、「ひまわり生活体験交流事業」が行われ、昭和63年から毎年、小学生が相互に訪問しています。今年も交流30周年を記念し、港南区から30人の小学生が3日間の日程で訪れました。参加した児童は、ひまわりの丘や岩出山地域の探索など、大崎の魅力に親しんでいました。市では、「ふるさと」の意識を育むことや地域の活性化を目的として、今後ますますさまざまな都市と交流事業を行います。

Discover Osaki

地域発 お・ら・ほ・の・ま・ち

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほの美味しい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント……。そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。



古川発

泥まみれの愉快的なバレー大会

7月28日、古川地域小泉地区で、「第9回泥んこバレーin小泉」が開催されました。

休耕田を活用し、住民同士の交流を深めようと、平成22年から毎年恒例となったこのイベント。3人1チームで試合が行われ、今年は市内外から22チームが参加しました。



▲土色の水しぶきが、泥んこバレーをもりたてます

田んぼのコートで行われる試合は、やわらかい泥に足がとられて、思うように進みません。必死でボールを追いかけ、泥んこまみれになる参加者の姿に、応援に駆けつけた友人や来場客、対戦相手はみな笑顔で、会場は歓声と笑い声であふれています。



▲子どもから大人まで、男女関係なく泥んこまみれに

田尻発

若者の活躍で夏祭りを開催

8月13日、田尻地域大貫地区が「かんぼやま夏祭り」でにぎわいました。

かんぼやま夏祭りは、「大貫をなんとかしたい！」と集まった青年組織「大貫衆十巻組」が平成21年に夏祭りを復活させて以来、毎年大貫の夏を盛り上げています。

オープニングでは十巻組メンバーが指導した大貫小学校の児童が踊りを披露したほか、「地域活動の始まり」と高校生が組織する「巻組」も、出店で活躍しました。露店やステージの運営を担うスタッフと、祭りを楽しむお客さんは、みな地元同士。お盆中の開催もあって、家族や旧友と談笑する声でにぎわっていました。



▲おそろいの赤いTシャツでオープニングをかざりました

大貫地区や田尻地域で、まちづくりを担う次の世代の活躍が期待されます。

岩出山発

市の花「ひまわり」が咲き誇りました

岩出山地域の大保行政区で、市の花「ひまわり」植栽コンクールが開催されました。

このコンクールは、市の花ひまわりに地区全体で親しもうと、加藤示二区長の呼びかけにより、地区の34件がコンクールに参加。7月25日には、より美しく開花させた人に、加藤区長から表彰状が授与されました。

大保地区は国道47号と並行して北側に位置しており、国道からは見事なひまわりを見ることができました。それぞれ自宅の庭や畑に植えられたひまわりは、7月下旬に一斉に開花し、夏らしい黄色と緑色の景色が広がっていました。



▲ひまわり畑で、表彰状を手に記念撮影をしました

2018  
8月の主な出来事

31日	●第64回全国こけし祭り・第28回鳴子漆器展(7月2日)
30日	●包括連携協定合同締結式
25日	●大崎市民パークゴルフ大会 ●おおさきジャンボ肉まつり(たじり)26日
20日	●古川地域交通死亡事故ゼロ6か月達成感謝状贈呈式
15日	●鳴子温泉地域成人式 ●平和のつどい
14日	●まつやま夏まつり ●三本木夏まつり ●鹿島台わらじまつり
8日	●平成30年第2回大崎市議会臨時会 ●岩出山東り豆腐農林水産省地理的表示(GI)保護制度登録報告
3日	●古川まつり(7月4日)
2日	●おおさき花火大会



▲鳴子温泉地域成人式で成人の誓いを述べる遠藤さん(右)と今野さん(左)